

豪雨編

早めの避難が 命を救う 外出は控えて



局地的集中豪雨
最近では、なかなか予測がつかないいわゆるゲリラ豪雨により災害が発生することがあります。大気が不安定で次々と雷雲が発生するような時は要注意です。気象情報に十分注意しましょう。

外出は控えて
豪雨時に外の様子を確認しに外出することは控えてください。川や用水路、田

の状況を確認に行くことは非常に危険です。
土砂災害警戒情報にも注意
集中豪雨や長雨などで地盤が緩むと土石流やがけ崩れなど土砂災害が発生しやすくなります。異変を感じたらすぐに周りの人や市役所などに知らせてください。
避難する時は
危険がせまる前に、早めに避難してください。無理をして避難所に行くよりも2階など高い所にいた方が安全な場合があります。

もし、1日前に戻れたら…。体験者から伝えたいこと

大雨の前に激しい雷

平成20年8月末豪雨 名古屋市70代男性

あの日も「東海豪雨と非常に似ている」ということだったので、風が出た場合に備えて家のまわりにあるものを固定しました。雷がすごかったんですが、振り返ると東海豪雨のときも雨になる前に雷がすごかったなと。雨がそれほど降っていなくても、雷が激しく鳴っている場合は最悪の場合を予測したほうがいいんじゃないかと思っています。

台風編

進路予測に注意 接近前に 早めの備えを

台風の進路予測

台風の進路は5日先まで予測されず。一般に、台風の上陸が多いのは8月と9月。これまでに大災害をもたらした台風の多くが9月に襲来しており、これからの季節は特に注意が必要です。

台風からの避難準備

台風は地震やゲリラ豪雨など違って、前もっての対応が可能です。ハザードマップで地域の危険な場所を確認し、避難所や避難所までの安全な経路を調べておきましょう。また、夜間に使用する懐中電灯などの準備や、情報を入手するための防災ラジ

オも準備しましょう。

台風が近づいたら

台風の進路予測により、住んでいる地域への影響が強いと思われる場合には、早めに避難の準備を始めてください。また、土のうの準備などもご検討ください。



もし、1日前に戻れたら…。体験者から伝えたいこと

お互いに電話連絡

平成16年10月台風23号 徳島市40代男性

昔から水が出やすいところですから、台風が来るとわかったら、すぐに車を堤防に上げたりしていました。台風の大きさには関係ありません。来てからでは遅いんです。この災害をきっかけにして、寝ていて気がつかない人があるといかんというので、連絡網みたいなものを作りました。お互いに連絡するようにしようということですね。